資料No.2

第3回審議会での委員意見への対応

No.	審議会意見	委員名	基本計画案への反映
1	成果指標「食の安全確保の取組が十分に行われていると感じる県内外の住民の割合」について 県の計画なので、県内の割合ではないか？ 指標のとらえ方がわからない	村山委員	成果指標そのものは変更しないが、「4 計画の目標と成果指標」の部分に指標の意味などについて解説する記述を加えた
2	「行われている」は県民が意欲的に参画するものでない	滝山委員	
3	県の取組だけを評価するのか、消費者や事業者の取組も含めて評価するのかわからない	藤井委員	
4	県民の意向を把握するアンケート調査については設問方法に工夫が必要	滝山委員	施策13の取組1の中に、アンケートやクイズを活用した取組を記述した
5	アンケートやクイズなどを用いた知識の普及啓発や相互理解促進の取組も必要	藤井委員	
6	食の安全・安心に関するコスト負担について消費者も担うことがわかるような表現が必要	高橋委員	施策1，2，3，4の消費者の役割の中に、コストへの理解という記述を加えた
7	取組指標に食品表示ウォッチャーの活動を表す指標を入れてほしい	村山委員	施策8の指標として「食品表示ウォッチャーの活動による調査店舗数」を追加した
8	消費者が情報にふれやすい、食品が売られたり買われたりする場所で情報提供をした方がよいのではないか	長谷川委員	施策11の取組4として食品販売店舗や飲食店を活用した情報の提供を加えた
9	農業体験は食への感謝とも関連し、非常に大切なのでその考えを入れてほしい	岡田委員	施策12の取組5として農業体験を通じた消費者への情報提供を追加した
10	農業体験とともに、作った人への感謝、生き物への感謝の考え方を入れてほしい。	藤井委員	
11	流通販売段階での事業者から消費者への情報提供を加えてほしい	村山委員	施策12の食品関連事業者の役割として流通・販売施設の見学会などの開催の記述を加えた
12	施策12と施策14に取組指標を設定してほしい	村山委員	取組12の指標として「学童等体験活動参加者数（修学旅行や総合学習等で体験交流に参加した小中学生等の数）」を追加した